

事務連絡
令和5年6月29日

各地方運輸局 総務部長 殿
神戸運輸監理部 総務企画部長 殿
内閣府 沖縄総合事務局 運輸部長 殿

大臣官房参事官（運輸安全防災）

梅雨前線による大雨に備えた体制の確保等について

気象庁によると、6月29日(木)は、上空の寒気の影響で、西日本から北日本で、大気の状態が非常に不安定となる見込みです。また、30日(金)にかけて、次第に梅雨前線の活動が活発となって、朝鮮半島から本州へ前線がのび、7月1日(土)にかけて、本州の南岸付近まで南下する見込みです。

また、29日(木)は、西日本から北日本では、局地的に雷を伴った激しい雨が降り大雨となる所があり、梅雨前線の活動が活発となる30日(金)から1日(土)にかけては、西日本から東北地方にかけての日本海側を中心に、雷を伴った非常に激しい雨が降り大雨となる見込みです。なお、28日(水)からの局地的な大雨の降った近畿地方から東北地方では、地盤が緩んでいる所や増水している河川があります。

これにより、上記各地方において、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に警戒が必要です。また、梅雨前線は、2日(日)以降も日本付近に停滞し、西日本を中心に大雨となるおそれがあります。

これを受けて、本日(6月29日)、政府において関係省庁災害警戒会議が開催されます。この会議以降、被害状況等のとりまとめや省災害対策本部会議開催の可能性がありますので、下記事項にあらかじめ留意し、万全の対応をとっていただくようお願いいたします。

また、自治体や地方関係機関との情報連携に努めていただき、災害初動対応に遅れが発生することがないように体制の確立にご留意いただくようお願いいたします。

記

1. 事業者等に対する注意喚起
2. 事業者等に対する運行計画変更のHP等による利用者への周知徹底
3. 運輸事業団体・運輸事業者との情報連絡体制の確保
4. 気象台、地方整備局と連携・協力したプッシュ型の支援対応の実施
5. 早期の体制の発令、局内の連絡・災害対応体制の確認
6. 速やかなTEC-FORCE・リエゾンの派遣
7. 被害状況等のとりまとめ及び災害対策本部会議時の対応（テレビ会議等）の準備